

令和2年度 生命地域妙高環境会議事業報告について

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、環境サポーターズスキルアップ講習会及びトレイルランニング等のイベントは中止しましたが、環境保護活動は対策を施した上で実施しました。

1. 生物多様性保全活動の推進

- いもり池のスイレンの駆除活動の実施
  - ・第1回 6月22日～24日 3日間 地元地区との協働  
ボートによるスイレン刈取り作業及び湖底における防草シートの貼付け
  - ・第2回 10月1日～2日 2日間 地元地区との協働  
ボートによるスイレン刈取り作業
- 笹ヶ峰高原におけるオオハンゴンソウの除去
  - ・8月21日
- 高山植物等の保護に向けた啓発活動の実施
  - ・盗掘防止看板の設置 6月23日から10月21日まで
- 新潟県国立公園清掃協会妙高支部による国立公園内の清掃活動
  - ・4月22日から11月29日まで

2. プロジェクトの推進

- 火打山自然再生プロジェクト
  - ・火打山ライチョウの個体群生態調査（繁殖期、非繁殖期）  
期 間：5月20日から3月31日まで
  - ・火打山協働環境保全活動（イネ科植物の除去）  
期 間：8月28日から31日まで
- 登山道整備に竹等の草刈り作業実施
- 高山帯における有害鳥獣の出没状況調査や捕獲活動、新規狩猟者の確保
  - ・猟友会による精力的な捕獲活動やわな等の講習会の実施。補助制度を活用した新規猟友会会員の確保
- 奥山、里山、里川の再生・保全プロジェクト
  - ・妙高山登山道除草作業におけるオオバコの除去
  - ・いもり池周辺におけるヨシの除去
  - ・ニホンジカ行動把握調査（GPS装着）  
※渋江川クリーン作戦は、悪天候のため中止
- 自然体験プロジェクト
  - ・国立妙高青少年自然の家、いもり池観光案内所によるプログラムの提供
  - ・妙高戸隠連山国立公園連絡協議会におけるロングトレイルの検討
  - ・市内小学校6年生を対象とした環境教育「火打山のライチョウと地球温暖化」を開催
  - ・妙高高原体育館を拠点とした「健康保養地プログラム」の実施  
※信越五岳トレイルランニングレース、妙高野尻湖 Sea to Summit は中止

### 3. 情報発信機能の充実

- 火打山登山道でのスマートフォンを活用した自然環境等の情報提供システム「火打山ナビ」の運用
- 生命地域妙高環境会議ホームページによる情報発信

### 4. 環境会議サポーター制度の運営

- 環境会議が進める生物多様性保全活動や自然体験活動等への協力
  - ・R3.3末現在で293名が登録
  - ・いもり池スイレン除去活動、ライチョウ生息環境保全活動（イネ科植物除去）、オオハンゴンソウ除去活動への参加

### 5. エコツアーリズムの推進

- エコツアーリズム推進に向けた取組
  - ◆いもり池観光案内所関連
    - ・いもり池ガイドウォーク（ミズバショウ解説）、きのこと観察会、スノーシュートレッキング
    - ・市内小学校当課外学習受入れ
  - ◆国立妙高少年自然の家
    - ・妙高自然体験活動指導者育成研修、親子トレラン教室、NEALリーダー（自然体験活動指導者）養成研修
      - ※GREAT JORNEY（統合型長期移動キャンプ）は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

### 6. 自主財源確保に向けた取組

- クラウドファンディングの実施

#### 【概要】

プロジェクト名：日本最北限、最小の個体群「火打山のライチョウ」を救いたい！

受付期間：10月31日から12月21日まで

寄付金総額：1,423,000円

寄付者総数：204名

寄付金使途：火打山ライチョウ個体群分布状況調査（令和3年度実施）

- 郵便振替、かざして募金等において89,898円の寄付を受付

議案第2号

令和2年度 生命地域妙高環境会議一般会計決算報告について

1. 歳入

(単位：円)

款	項	目	予算額	収入額	増減	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	3,985,000	3,985,000	0	妙高市負担金
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	0	0	
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	145,800	145,800	0	前年度繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 雑収入	82,200	89,919	7,719	寄付金 89,898 円 利息 21 円
合計			4,213,000	4,220,719	7,719	

2. 歳出

(単位：円)

款	項	目	予算額	支出額	増減	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	320,000	0	△320,000	委員謝金、費用弁償 書面開催の為支出なし
	2 事務費	1 事務費	195,000	131,742	△63,258	職員旅費、消耗品等
2 事業費	1 事業費	1 事業費	3,598,000	2,995,464	△602,536	ホームページ運営費 63,800
						環境ポータルシステム推進費 246,400
						奥山里山里川保全費 1,000
						生物多様性保全活動費 1,594,208
						ライチョウ保護対策費 1,090,056 (R1クラウドファンディング充当)
3 予備費	1 予備費	1 予備費	100,000	0	△100,000	
合計			4,213,000	3,127,206	△1,085,794	

収入 4,220,719 円ー支出 3,127,206 円=1,093,513 円の内、寄付金 89,898 円は次年度へ繰越し、差額の 1,003,615 円は市会計へ返納

※R1 ライチョウクラウドファンディング寄付額 1,084,000 円は満額執行

【歳入の部】

- ・当初予算通りの収入

【歳出の部】

- ・1 運営費 1 会議費 320,000 円の減について、総会書面開催となったため。
- ・2 事業費 602,536 円の減について、奥山里山里川保全費の渋江川クリーン作戦が中止となったことから不用額 159,000 円を計上し、その他の減については事業を執行した上での差金。

## 令和2年度 入域料事業報告

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により登山者数の減少が懸念されたが、笹ヶ峰登山口における入込は令和元年度 10,722 人対し、令和2年度 11,484 人と微増であり、例年並みの活動となった。

### 1 実施内容

- (1) 収受箇所 ①笹ヶ峰登山口 ②燕温泉登山口
- (2) 収受期間 令和2年7月1日(水)から10月31日(土)まで
- (3) 収受方法
  - ①笹ヶ峰登山口
    - ・土日祝日及びお盆期間の午前5時から10時までは収受員を配置
    - ・上記以外の時間は、協力金箱による収受活動
  - ②燕温泉登山口
    - ・終日協力金箱による収受活動
    - ・現地掲示物管理及び協力者記念品配布のため、地元事業所に管理委託
- (4) 金額 500円(任意) 令和2年度収受額 3,983,861円

### 2 入域料充当事業

- (1) ライチョウ保護対策事業  
妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査業務  
決算額：968,825円  
受託者：一般財団法人上越環境科学センター  
箇所：ライチョウ平  
内容：①センサーカメラ調査(7月～11月)  
②環境改善事業(イネ科除去)  
③ライチョウ捕食者に係る糞調査(笹ヶ峰登山口から影火打)
- (2) 登山道整備事業  
妙高山・火打山地域における登山道整備事業  
決算額：0円(未執行額910,000円は令和3年度へ繰越)

### 3 その他

- (1) 妙高ツーリズムマネジメントとの連携により、入域料協力者が観光施設等で割引特典(例：入浴割引など)を受けることができる取組を実施(協力：18店舗)
- (2) 登山口における携帯トイレ販売の開始と、オオシラビソ林に携帯トイレブースの設置
- (3) 登山口においてスマートフォンを活用した登山保険加入の仕組みの導入

## 議案第4号

## 令和2年度 入域料特別会計決算報告

## 1. 歳入

(単位：円)

款	項	目	予算額	収入額	増減	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	438,000	438,000	0	市負担金
2 協力金	1 協力金	1 協力金	1,000,000	3,983,861	2,983,861	入域料
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	1,887,804	1,887,804	0	前年度繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	196	280,628	280,432	携帯トイレ売上、預金利息等
合計			3,326,000	6,590,293	3,264,293	

## 2. 歳出

(単位：円)

款	項	目	予算額	支出額	増減	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	199,000	36,135	△162,865	委員謝金、費用弁償
	2 事務費	2 事務費	150,000	279,493	129,493	のぼり旗、消耗品等
	3 広告費	3 広告費	80,000	143,528	63,528	告知チラシ
2 事業費	1 事業費	1 協力金	2,325,000	1,979,891	△345,109	ライチョウ保護対策事業 968,825
						登山道整備事業 0
						収受員賃金 363,614
						現地管理費 52,440
	協力者記念品 595,012					
2 繰越事業費	1 繰越事業費	555,000	3,379,291	2,824,291	R3年度へ繰越	
3 予備費	1 予備費	1 予備費	17,000	583,050	566,050	山岳用携帯トイレ費用等
合計			3,326,000	6,401,388	3,075,388	

歳入 6,590,293 円 － 歳出 6,401,388 円 ＝ 差額 188,905 円は、市会計へ戻入

## 【歳入の部】

- ・2 協力金 2,983,861 円の増について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により登山者が少ないことを見込んだが、結果、例年並みの登山者であったための増。

## 【歳出の部】

- ・2 事業費 1 事業費 1 協力金の内登山道整備事業については、未執行となったため令和3年度へ910,000 円を繰り越し執行するものとする。

令和3年度 生命地域妙高環境会議事業計画（案）について

- ・自然環境保護活動は、新型コロナウイルス感染症拡大対策をした上で継続します。

1. 生物多様性保全活動の推進

- いもり池のスイレン等外来生物（植物）の駆除活動の実施
  - ・池の平温泉区協議会との連携によるスイレン除去活動
    - \*防草シートの湖底への貼付け 1, 800㎡
    - \*専用ボートによるスイレン刈り作業
- オオハンゴンソウの駆除活動（笹ヶ峰高原及び、いもり池周辺）

2. プロジェクトの推進

- 火打山自然再生プロジェクト
  - ・クラウドファンディング充当事業  
「火打山ライチョウの個体群生態調査及び高山帯における有害鳥獣出没状況調査」
  - ・登山道沿いの除草作業
- 奥山、里山、里川の再生・保全プロジェクト
  - ・ふる里の川普請（渋江川クリーン作戦）
  - ・いもり池周辺におけるヨシの除去
  - ・自然保護団体（妙高里山保全クラブなど）を中心とした里山の整備
  - ・ニホンジカ行動把握調査（GPS 装着）
  - ・有害鳥獣の捕獲及び捕獲技術講習会の開催
- 自然体験プロジェクト
  - ・自然体験プログラムの開催  
（いもり池観光案内所、国立妙高青少年自然の家）
  - ・妙高戸隠連山国立公園連絡協議会ロングトレイルの一部開通
  - ・信越五岳トレイルランニングレースの開催
  - ・妙高高原体育館を拠点とした妙高高原健康ツアーの普及啓発
  - ・市内小学校を対象とした環境教育の実施

3. 情報発信機能の充実

- 火打やまナビ（スマートフォンを活用した情報提供システム）の運用
- 環境会議公式ホームページによる情報発信

4. 環境サポーターズ制度の運営

- 環境会議が進める生物多様性保全活動や自然体験活動等を推進するためのボランティア活動団体の運営及び会員募集
- 環境サポーターズスキルアップ講習会の開催
- 環境サポーターズには、国立公園妙高オリジナル T シャツ及び活動キャップの進呈

## 5. 希少野生動植物保護活動

- 妙高市希少野生動植物保護条例に則った指定野生動植物の保護
  - ・希少野生動植物捕獲禁止の啓発看板設置
  - ・希少野生動植物保護監視員による監視及び指導活動

## 6. いもり池周辺環境整備事業

- いもり池東側広場雑木処理及び張芝

## 7. ミズバショウ増殖事業

- ミズバショウ群落の再生事業（こしじの会補助事業）
  - ・ミズバショウの採種、育苗
  - ・ミズバショウ群落再生適地の選定及び環境改善
  - ・ミズバショウ植栽（次年度以降）

## 8. 笹ヶ峰高原除草清掃活動

- 笹ヶ峰高原における遊歩道の除草及び清掃活動（環境省からの受託事業）

## 9. エコツアーリズムの推進

- エコツアーリズム推進に向けた取組
  - ◆いもり池観光案内所関連
    - ・いもり池ガイドウォーク、きのこと観察会、バードウォッチング、スノーシュートレッキング
  - ◆国立妙高青少年自然の家
    - ・チャレンジキャンプ2021（統合型長期キャンプ）ほか

## 10. 自主財源の確保

- クラウドファンディングの実施、各種寄付金の受付

令和3年度 生命地域妙高環境会議一般会計予算（案）について

1. 歳入

(単位：円)

款	項	目	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	比較(A-B)	備 考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	6,666,000	3,985,000	2,681,000	妙高市負担金（クラフトファンディング含む）
2 補助金	1 補助金	1 補助金	192,000	0	192,000	こしじの会（ミズバショウ増殖事業補助金）
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	89,898	145,800	△55,902	令和2年度からの繰越金
4 受託費	1 受託費	1 受託費	532,000	0	532,000	
5 諸収入	1 諸収入	1 雑収入	20,102	82,200	△62,098	寄付金等
合 計			7,500,000	4,213,000	3,287,000	

2. 歳出

(単位：円)

款	項	目	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	増減(A-B)	備 考	
1 運営費	1 会議費	1 会議費	242,000	320,000	△78,000	委員謝金、費用弁償（会議2回）	
	2 事務費	1 事務費	162,000	195,000	△33,000	消耗品、郵送料、職員旅費、振込手数料	
2 事業費	1 事業費	1 事業費	6,988,000	3,598,000	3,390,000	生物多様性保全活動	2,745,000
						火打山自然再生プロジェクト （クラフトファンディング充当事業）	1,540,000
						奥山里山里川保全費 （渋江川クリーン作戦）	88,000
						ホームページ運営費	190,000
						環境ポータルズ制度推進費	251,000
						希少野生動植物保護活動	130,000
						いもり池周辺環境整備事業	1,320,000
						ミズバショウ増殖事業	192,000
笹ヶ峰高原除草清掃活動	532,000						
3 予備費	1 予備費	1 予備費	108,000	100,000	8,000		
合 計			7,500,000	4,213,000	3,287,000		

【収入の部】

・1 負担金 2,681,000 円の増については、各種事業費の増額のため。

【支出の部】

・2 事業費 3,390,000 円の増については、生物多様性保全活動（いもり池スイレン除去）の事業量の増及び、新規事業としていもり池周辺環境整備事業（雑木処理等）・ミズバショウ増殖事業に取り組むため。

令和3年度 入域料事業計画（案）

- ・依然として新型コロナウイルス感染症拡大の影響による登山者数推移の不透明感は否めませんが、前年度実績を踏まえ例年並みの入込を見込んだ計画とします。
- ・入域料收受活動の効率化を目指し、收受率を考慮しながら収受員の配置日等コストの適正化を図ります。

1 実施内容

- (1) 収受箇所 ①笹ヶ峰登山口 ②燕温泉登山口 ③新赤倉登山口  
※新赤倉登山口は、スカイケーブルの運行状況により検討
- (2) 収受期間 令和3年7月1日（木）から10月31日（日）まで
- (3) 収受方法
- ①笹ヶ峰登山口
- ・土日祝日及び繁忙期は午前5時から10時までは収受員を配置
  - ・上記以外の時間は、協力金箱による収受活動
- ②燕温泉登山口 ③新赤倉登山口
- ・終日協力金箱による収受活動
  - ・現地掲示物管理及び協力者記念品配布のため、地元事業者に管理委託
- (4) 金額 500円（任意）

2 入域料充当事業

(1) ライチョウ保護対策事業

妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査業務

予算額：1,500,000円

箇所：ライチョウ平

内容：環境改善事業

- ・イネ科除去作業
- ・令和2年度実施地におけるモニタリング

(2) 登山道整備事業

妙高山・火打山地域における登山道整備事業

予算額：1,880,000円

3 その他

- (1) 妙高ツーリズムマネジメントとの連携により、入域料協力者が観光施設等で割引特典（例：入浴割引など）を受けることができる取組を実施
- (2) 入域料充当事業の広報（ホームページや収受箇所における掲示）
- (3) 山岳用携帯トイレの普及啓発（笹ヶ峰登山口及び燕登山口）

## 令和3年度 入域料特別会計予算（案）について

## 1. 歳入

(単位：円)

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	72,000	438,000	△366,000	市から負担金
2 協力金	1 協力金	1 協力金	3,500,000	1,000,000	2,500,000	@500円×7,000名
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	3,379,291	1,887,804	1,491,487	前年度からの繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	100,709	196	100,513	山岳用携帯トレイ売上 @500×200個 他、預金利息等
合 計			7,052,000	3,326,000	3,726,000	

## 2. 歳出

(単位：円)

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	120,000	199,000	△79,000	委員謝金、費用弁償
	2 事務費	1 事務費	150,000	150,000	0	収受に係る消耗品等
	3 広告費	1 広告費	200,000	80,000	120,000	告知チラシ等
2 事業費	1 事業費	1 事業費	4,606,000	2,325,000	2,281,000	ライチョウ保護対策事業 1,500,000
						登山道整備事業 1,880,000
						収受員賃金 400,000
						燕管理費 60,000
						新赤倉管理費 100,000
						協力者記念品 (@88円×7,000個) 616,000
山岳用携帯トレイ購入 (@250円×200個) 50,000						
2 繰越 事業費	1 繰越 事業費	1,900,000	555,000	1,345,000	次年度ライチョウ保護対策事業及び 登山道整備事業等へ充当	
3 予備費	1 予備費	1 予備費	76,000	17,000	59,000	
合 計			7,052,000	3,326,000	3,726,000	

## 【歳入の部】

- ・1 負担金 336,000 円の減については、前年度に収受活動平日無人化のための入域料箱やのぼり旗等掲示物展示のための費用として負担金を受けていたため。

## 【歳出の部】

- ・1 事業費 2,281,000 円の増については、前年度入域料からのライチョウ保護対策事業と登山道整備事業への充当額が前年を上回ったことと、前年度登山道整備事業が未執行であったための繰越した事業費があるため。

生命地域妙高環境会議 委員 顧問・アドバイザー名簿

氏 名	委員（所属・役職）	備考
月 尾 嘉 男	東京大学名誉教授	
入 村 明	妙高市 市長	
中 村 浩 志	中村浩志国際鳥類研究所 代表理事	
濁 川 明 男	妙高里山保全クラブ 顧問	
長 野 康 之	新潟ライチョウ研究会 代表	
春 日 良 樹	妙高高原ビジターセンター 前館長	
鹿 島 真由美	国立妙高青少年自然の家 主任企画指導専門職	
築 田 博	前 環境省 自然保護指導員	
中 野 豊 和	山岳ガイド代表	

氏 名	顧問・アドバイザー（所属・役職）	備考
山 本 豊	環境省長野自然環境事務所妙高高原自然保護官事務所 自然保護官	
内海 洋太	林野庁上越森林管理署 総括森林整備官	
嶋 田 聡	新潟県上越地域振興局健康福祉環境部環境センター環境課長	